

第6回 日本食看護研究会の開催について

2月29日（土）の日本食看護研究会は、規模を縮小し開催いたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、国からは不要不急のイベントの開催の再検討、しかし一律に自粛要請をするものではないことの通達がなされています（2月20日）。さらに、国内での感染拡大に備えて、風邪や発熱など軽い症状が出た場合は、外出をせず、自宅療養してください。との基本方針が出されました（2月24日）。秋田県内では、新型コロナウイルスによる感染確認の報告はなされていませんが、十分に感染対策を取る必要があります。そこで研究会に参加するにあたり皆様をお願いしたいことがございます。

お願いしたいこと

体調がすぐれない場合（数日続く微熱、から咳、倦怠感等）のご参加はお控えくださるようお願い申し上げます。

①会場内ではマスクの着用と手洗いの励行

マスクお入用の方には、ひとり1枚を用意しています。

会場入り口に手指消毒用ボトルを用意していますので、ご利用ください。

②会場内では、間隔を取り御着席いただきます。

互いに手を伸ばしたら届く距離をとり、御着席ください。

③使用済みマスク等の分別廃棄に御協力ください。

④参加者の連絡先を確認させてください。

研究会終了後、潜伏期間を過ぎ感染が確認されないことを確認後、破棄いたします。

御了承願いたいこと

①演者のマスク着用による発表、研究会運営スタッフのマスク着用での対応について

②昼休み、シンポジウム後の会場内換気

主催者感染対策について

①開催時間の短縮

・[基調講演Ⅱ：症状緩和から“食べる”を支える 中止](#)

・[終了時間を16：15から15：15に繰上げ](#)

②使用会場の清掃：特に机・ドアノブ・洗面台等を、除菌シートを用いて入念に掃除します。

③昼食ならびに会場のごみの後始末

適宜、使用済みマスク等のごみ袋の回収と密閉管理

④救護員（腕に腕章あり）がいます。体調がすぐれない場合はすぐにお申し出ください。

上記の感染防止対策を取り開催いたします。今回の研究会が参加者の皆様にとって実り多いものになることを祈っています。

2020年2月28日

大会長 下平 唯子